

まち・ひと・しごと・ふるさと養父市創生総合戦略 施策評価シート

1. 施策概要「PLAN(計画)」

番号	1	-	1
----	---	---	---

基本目標①	“住みたいまち”に ⇒ふるさとへの愛着と魅力の醸成・発信による新しい「ひと」 の流れを創る		◇5年後の転入者数 80人増加			
施策	概要			KPI		目標値
1 若い世代をターゲットとしたU(I・J)ターンの促進	養父市で生まれ育った若者などへ結うターン(Uターン)を促す取組や回帰を促すアプローチを市民総参加で行い、女性をはじめとする養父市に関わりのある多様なUターンを促進する。			U・Iターン支援制度を利用したU(I・J)ターンの者数	当初	50組(累計)
					2次	80組(累計)
KPI推移	H27	H28	H29	H30	H31	備考
	8組	31組	51組	73組		

2. 実施状況「DO(実施)」

枝番	事業名	担当課	概要(目的と内容)	有効性 (事業継続の必要性)
主な活動指標		H30活動実績	改善状況・今後の方向性 新規事業はR1の進捗状況(5月末現在)	H30成果実績
1	やぶ暮らし住宅支援事業	やぶぐらし課	UIターン者の住環境整備への支援により移住を促進するため、助成や空き家バンクの物件紹介、相談を行う。	○
	U・Iターン者世帯加算者数	14組	旧制度が30年度末で失効し、新制度を創設した。新制度では多世代同居加算を廃止し新たに同居近居世帯加算を追加し、補助対象者の拡大を図っている。	14組
2	若者未来応援奨学金事業	教育総務課	就学支援及びUターンと定住促進のため、奨学金の交付及び奨学金の返還猶予・免除を行う。	○
	奨学生の数	6人	所得制限を700万から500万に引き下げた。より経済的に必要な人への奨学金となった。卒業して養父市へUターンすることの意志確認と、動向確認を徹底する	6組
3	結婚新生活スタートアップ事業	やぶぐらし課	新婚夫婦の経済的負担を軽減し若年世帯の移住を促進するため、新婚世帯に最大30万円の補助を行う。	—
	制度を利用し引越した新婚世帯	2組	対象世帯を国の所得要件(夫婦合算所得340万円以下)に上乗せし世帯所得400万円未満の世帯に拡大したが改善には結びつかなかった。本制度は平成30年度末で廃止。	1 (2)組
4	小さな(1アール)農家活動応援事業	やぶぐらし課	農ある暮らしの実現のため、空き家とそれに付随した農地を取得し農業を始めた方に補助金を支給する。	○
	小さな農家活動応援事業補助件数	5件	農地政策課と連携し、条件に合う空き家購入者にPR及び営農相談(希望者のみ)を行う。空き家バンク物件登録時に農地登録も同時に行うことで、交渉をスムーズに行うことができることから登録を促していく。	1 (5)組
5	孫ターン推進事業	やぶぐらし課	孫世代等との交流による将来的な移住定住に向け、シルバー人材センターに補助し、体験・交流事業を行う。	—
	孫ターン事業開催数	5回	厚労省の補助事業は30年度で終了したが、シルバー人材センターの交流事業は、都市部シルバーと連携し継続する予定。	- 組

3. 施策の分析「CHECK(評価)」と「検証」

①基本目標の視点から見た施策の評価について	必要性	有効性	効率性	本部評価
	大いにある	大いにある	高い	妥当である
	創生本部コメント 基本目標に直接効果のある施策である。			
②施策の方向性に対して事業設定が妥当かどうか	必要性	有効性	効率性	本部評価
	大いにある	大いにある	高い	妥当である
	創生本部コメント 事業の中で成果が低調なものを廃止し、より直接的な効果が高い事業へ振り替えるなど見直しを行っており妥当である。			

4. 今後の方向性「ACTION(改善)」

次年度において対応すべき事項	創生本部コメント KPI(2次目標)を達成する見込み。 若い世代のU(I・J)ターンは基本目標①だけでなく、基本目標②や③への影響も多大である。若い世代向けに特化した事業構築や見せ方など、さらなる取組を推進すること。
----------------	--

まち・ひと・しごと・ふるさと養父市創生総合戦略 施策評価シート

1. 施策概要「PLAN(計画)」

番号	1	-	2
----	---	---	---

基本目標①	“住みたいまち”に ⇒ふるさとへの愛着と魅力の醸成・発信による新しい「ひと」の 流れを創る				◇5年後の転入者数 80人増加	
施策	概要				KPI	目標値
1 U・I・Jターン者等による起業・就業の促進	古民家、空き民宿など活用したI・Jターンによる起業やマンパワー不足が課題となっている介護・建設・農業・林業分野でのOJTによる就業を促進する。特に養父市に住む若い女性に対して雇用に繋がる資格取得等スキルアップを支援し、女性が活躍できる環境をつくることにより、女性のU・I・Jターンを促進する。				U・I・Jターン者のOJT就業・起業者数	25人
KPI推移	H27	H28	H29	H30	H31	備考
	3	7	8	10		

2. 実施状況「DO(実施)」

枝番	事業名	担当課	概要(目的と内容)	有効性 (事業継続の必要性)
	主な活動指標	H30活動実績	改善状況・今後の方向性 新規事業はR1の進捗状況(5月末現在)	H30成果実績
1	地域おこし協力隊活動事業	やぶぐらし課	地域外の人材を誘致し地域力の維持・強化につなげるため、協力隊の活動と自立を支援する。	○
	隊員委嘱者数	6人	隊員の活動内容、成果、課題を地域や関係部局と共有し、必要に応じてヒアリング、アドバイスをを行う。関係部局と連携し、各種奨励制度を紹介、関係機関(特区、農林、商工、パートナーズ、金融機関、普及C等)との調整など退任後の自立に向けた支援を行う。	(1)人
2	地域協力隊起業支援事業	やぶぐらし課	協力隊の活動終了後も本市に定着し活躍できる環境を整備するため、起業に必要な経費を補助する。	○
	隊員委嘱者数	6人	起業に向けた助言を行うため、関係部局(特区地方創生課、農林振興課、商工振興課)との意見交換会を実施。自立に向けて、関係部署と連携し、情報提供、人材紹介を行う。国の起業アドバイザー派遣制度を活用し、自立定着に向けてのフォローを行う。	1人
3	介護人材確保事業	介護保険課	介護人材確保のため、U・Iターン者として就職する者に対し、引越越し費用や資格取得費用等の一部を補助する。	○
	U・I・Jターン者の就業者数の増加	4人	昨年度対象者の見直しを行っており、本年度の変更はないが、介護人材の確保は引き続き課題であり、学生時代から福祉に関心を持ってもらえるような取り組みの強化が課題。現在、福祉学習で小学校に地域包括が講座に出ており、学校との連携を強化していく。	1人
4	労働対策事業費	商工観光課	市内企業でのインターンシップを通して市内企業の魅力等を感じてもらうことで、市内企業への就職を促す。	○
	インターンシップ受講者数	6人	昨年度までは、4泊5日だったが、学生・企業両者に負担が大きいと判断し、1泊2日に変更した。併せて、参加者を高校生まで拡大する。	0人

3. 施策の分析「CHECK(評価)」と「検証」

①基本目標の視点から見た施策の評価について	必要性	有効性	効率性	本部評価
		大いにある	大いにある	高い
創生本部コメント 基本目標に直接効果のある施策である。				
②施策の方向性に対して事業設定が妥当かどうか	必要性	有効性	効率性	本部評価
		大いにある	どちらかというところ	やや高い
創生本部コメント 施策に直接効果のある事業ではあるが、KPI達成のためにはより効果の高い事業への見直しを要する。				

4. 今後の方向性「ACTION(改善)」

次年度において対応すべき事項	<p>創生本部コメント</p> <p>定着率が高く、定住に繋がっている施策である。今後もU・I・Jターン後の定住状況やフォローを行うこと。若い世代のU(I・J)ターンは基本目標①だけでなく、基本目標②や③への影響も多大である。若い世代向けに特化した事業構築や見せ方など、さらなる取組を推進すること。</p>
----------------	---

まち・ひと・しごと・ふるさと養父市創生総合戦略 施策評価シート

1. 施策概要「PLAN(計画)」

番号	1	-	3
----	---	---	---

基本目標①	“住みたいまち”に ⇒ふるさとへの愛着と魅力の醸成・発信による新しい「ひと」の流れを創る		◇5年後の転入者数 80人増加			
施策	概要		KPI		目標値	
1 ふるさと教育の推進	小・中学校において豊かな自然や地域に伝わる伝統文化・産業など地域の魅力に触れる機会を多くすることにより、生まれ育った地域へ誇りを持つことができるようにする。		高校生が地域への愛着があると回答した割合		65%	
KPI推移	H27 55%	H28 -	H29 -	H30 45.7%	H31 備考	

2. 実施状況「DO(実施)」

枝番	事業名	担当課	概要(目的と内容)	有効性 (事業継続の必要性)
	主な活動指標	H30活動実績	改善状況・今後の方向性 新規事業はR1の進捗状況(5月末現在)	H30成果実績
1	やぶ・ふるさとキャリア教育推進事業費(小)	学校教育課	養父市を担う人づくりに向け、先人に学びながら地域への参画力を高め、ふるさと教育とキャリア教育を実施する。	○
	やぶ・ふるさとキャリア教育実施校数	9校	養父市ゆかりの人物による講演会の開催、事業所訪問、先人や文化財にふれる活動など内容を発展させ、地域住民との連携・協働をさらに進める。	45.7%
2	やぶ・ふるさとキャリア教育推進事業費(中)	学校教育課	養父市を担う人づくりに向け、先人に学びながら地域への参画力を高め、ふるさと教育とキャリア教育を実施する。	○
	やぶ・ふるさとキャリア教育実施校数	4校	養父市ゆかりの人物による講演会の開催、事業所訪問、先人や文化財にふれる活動など内容を発展させ、地域住民との連携・協働をさらに進める。	(45.7)%
3	環境体験事業費	学校教育課	豊かな感性や生命尊重、ふるさと意識の醸成のため、五感を使った体験活動により命の営みや大切さについて学ぶ。	○
	環境体験事業実施校数	9校	米作り体験、間伐体験など地域ボランティアの協力を得ながらの継続的な取組を通じて、地域の自然や人、命のつながり、自然の恵みに対する理解を深める。	(45.7)%
4	放課後ふるさと教育事業	こども育成課	養父市を愛する心の醸成を図るため、シルバー人材センター等の会員による文化や技術の継承を行う。	○
	ふるさと教育実施回数	27回	多様な体験ができるようシルバー人材センター等との打ち合わせを通じて、講座内容等を検討している。	(45.7)%

3. 施策の分析「CHECK(評価)」と「検証」

①基本目標の視点から見た施策の評価について	必要性	有効性	効率性	本部評価
		大いにある	大いにある	高い
創生本部コメント 「愛着がある」と「将来Uターンしたい」との回答には相関関係がみられることから、地域への愛着の形成は将来のUターンに繋がる可能性があると考えられることから妥当である。				
②施策の方向性に対して事業設定が妥当かどうか	必要性	有効性	効率性	本部評価
		大いにある	概ねある	普通
創生本部コメント 施策に直接効果のある事業ではあるが、小中学校だけでなく高校生等へのアプローチを検討すること。				

4. 今後の方向性「ACTION(改善)」

次年度において対応すべき事項	創生本部コメント 現在の進捗ではKPI達成には厳しい。 特別な行事によってではなく、日常の中での様々な体験やふれあいを通してふるさとへの愛着は醸成されるもの。学校や地域が普段から愛情を持って子どもたちに接するという意識を高めるようふるさと教育のあり方を見直すこと。
----------------	--

まち・ひと・しごと・ふるさと養父市創生総合戦略 施策評価シート

1. 施策概要「PLAN(計画)」

番号	1	-	4
----	---	---	---

基本目標①	“住みたいまち”に ⇒ふるさとへの愛着と魅力の醸成・発信による新しい「ひと」の流れを創る		◇5年後の転入者数 80人増加			
施策	概要		KPI		目標値	
1 住宅環境の整備	賃貸住宅の安定供給とともに、遊休地を活用した宅地造成を実施するなど住まいの環境の整備とともにU・I・Jターンの女性のための住まいを用意する。		市が関与した分譲地へ居住した世帯数		10世帯(累計)	
KPI推移	H27	H28	H29	H30	H31	備考
		1	14	14		

2. 実施状況「DO(実施)」

枝番	事業名	担当課	概要(目的と内容)	有効性 (事業継続の)
	主な活動指標	H30活動実績	改善状況・今後の方向性 新規事業はR1の進捗状況(5月末現在)	H30成果実績
1	養父市貯木所跡地売却事業	土地利用未来	市が所有する低未利用地を有効活用し、若者世帯・子育て世帯を中心とした定住人口の増加を図る	○
	分譲地の整備	- 件	市が分譲する場所、市有地以外の分譲地整備について方向性を示す必要がある。また、事業実施が決まった際には、区などへの事前説明が必要である。	0 世帯
2				
3				
4				

3. 施策の分析「CHECK(評価)」と「検証」

①基本目標の視点から見た施策の評価について	必要性	有効性	効率性	本部評価
	大いにある	大いにある	高い	妥当である
	創生本部コメント 基本目標に直接効果のある施策である。			
②施策の方向性に対して事業設定が妥当かどうか	必要性	有効性	効率性	本部評価
	大いにある	大いにある	高い	妥当である
	創生本部コメント 施策に直接効果のある事業で妥当である。			

4. 今後の方向性「ACTION(改善)」

次年度において対応すべき事項	創生本部コメント KPIを達成し、効果も見込まれる。 今年度実施する下町駐車場跡地分譲の効果をみながら市所有の未活用地、施設に係る有効利用について官民連携による計画的な新事業を検討すること。
----------------	---

まち・ひと・しごと・ふるさと養父市創生総合戦略 施策評価シート

1. 施策概要「PLAN(計画)」

番号 1 - 5

基本目標①	“住みたいまち”に ⇒ふるさとへの愛着と魅力の醸成・発信による新しい「ひと」 の流れを創る		◇5年後の転入者数 80人増加		
施策	概要		KPI		
1 空き家を活用した移住・定住の推進	空き家解消に向けたストックの有効活用を図るとともに、農地と空き家を組み合わせるなどやぶぐらしを象徴する取組を推進する。		空き家バンク成約件数	当初	50件(累計)
				2次	65件(累計)
KPI推移	H27	H28	H29	H30	H31
	7	19	42	55	備考

2. 実施状況「DO(実施)」

枝番	事業名	担当課	概要(目的と内容)	有効性 (事業継続の)
	主な活動指標	H30活動実績	改善状況・今後の方向性 新規事業はR1の進捗状況(5月末現在)	H30成果実績
1	やぶの空き家活用支援事業	やぶぐらし課	移住促進のため、空き家改修費に補助を行う。	○
	やぶの空き家活用件数	2 件	空き家適正管理を促すパンフレットを作成。空き家活用アンケート調査を活用し、UIターン者への家屋需要に対応した物件の掘り起こしを推進。また宅建但馬支部に依頼し、宅建協会に加入するリフォーム業者に制度の案内を行う。申請者も増加傾向にあり、引き続き広報等を行いPRに努めたい。	13 件
2	やぶ暮らし住宅支援事業(再掲)	やぶぐらし課	UIターン者の住環境整備への支援により移住を促進するため助成や空き家バンクの物件紹介、相談を実施する。	○
	U・Iターン者世帯加算者数	18 組	宅建但馬支部を通して物件取扱業者に制度の案内、税務課の家屋調査時に制度紹介パンフを配布。現行制度が30年度末で失効し、新制度を創設し、多世代同居加算を廃止新たに同居近居世帯加算を追加し、補助対象者の拡大を図っている。	(5) 件
3	小さな(1アール)農家活動応援事業(再掲)	やぶぐらし課	農ある暮らしの実現のため、空き家とそれに付随した農地を取得し農業を始めた方に補助金を支給する。	○
	小さな農家活動応援事業補助件数	5 件	農地政策課と連携し、条件に合う空き家購入者にPR及び営農相談(希望者のみ)を行う。空き家活用意向調査において、農地の意向も確認することで、農地付き空き家の掘り起こしを行っていく。活用事例をパンフにまとめ、週末農業、家庭菜園等を希望する移住者等にその魅力を発信する。	(3) 件

3. 施策の分析「CHECK(評価)」と「検証」

①基本目標の視点から見た施策の評価について	必要性	有効性	効率性	本部評価
	大いにある	大いにある	高い	妥当である
	創生本部コメント 基本目標に直接効果のある施策である。			
②施策の方向性に対して事業設定が妥当かどうか	必要性	有効性	効率性	本部評価
	大いにある	大いにある	高い	妥当である
	創生本部コメント 空き家バンクでは40代以下の成約が6割を超え、施策に直接効果のある事業で妥当である。空き家、空き地は未活用資源として捉え、今後もニーズに即した内容に変更し、効果を高めること。			

4. 今後の方向性「ACTION(改善)」

次年度において対応すべき事項	創生本部コメント KPIを達成したため、2次目標値を設定しより効果を引き上げていくこと。空き家バンクを利用した移住者の生活を見せるなど、やぶぐらしをイメージしやすいようPRを行うこと。
----------------	---

まち・ひと・しごと・ふるさと養父市創生総合戦略 施策評価シート

1. 施策概要「PLAN(計画)」

番号	2	-	1
----	---	---	---

基本目標②	“チャレンジできるまち”に ⇒恵まれた機会と養父市が持つ強みを生かし、養父らしい 「しごと」を創る		◇新たな雇用創出数200人/5年間 ◇新たな起業・創業件数50件/5年間			
施策	概要		KPI	目標値		
2 6次産業化の推進と拠点の整備 【特区関連】	農家・事業者の6次産業化を促進する加工機能・ノウハウを提供する仕組みを確立するとともに、農家・事業者が行う6次産業化への取組を推進する。		6次産業化への取組農業者・経営体数	15経営体 (累計)		
KPI推移	H27	H28	H29	H30	H31	備考
	2	5	8	10		

2. 実施状況「DO(実施)」

枝番	事業名	担当課	概要(目的と内容)	有効性 (事業継続の必要性)
	主な活動指標	H30活動実績	改善状況・今後の方向性 新規事業はR1の進捗状況(5月末現在)	H30成果実績
1	儲かる農業支援事業	農林振興課	農産物の安定生産、品質向上、6次産業化等の推進のため生産力強化等の儲かる農業モデル形成を支援する。	○
	6次産業化施設整備補助件数	4 件	ビニールハウスの設置や6次産業化施設の設置に加え、農業機械導入への支援メニューを新設。地域情勢に応じた農業モデルの形成支援を行う。	2 経営体
2	6次産業化支援センター施設管理費	商工観光課	6次化・農商工連携の推進支援、創業・事業展開支援のため、活動の場の提供と6次化の普及・促進、相談を行う。	○
	本施設への入居事業者数	2 社	前年度セミナー参加者に対し、個別支援を行うことで、6次産業化への取組を促進させる。兵庫県内の起業家支援施設と連携を図り、各施設間の相互利用など、利用者確保に取り組む。	0 経営体
3				
4				

3. 施策の分析「CHECK(評価)」と「検証」

①基本目標の視点から見た施策の評価について	必要性	有効性	効率性	本部評価
	大いにある	大いにある	高い	妥当である
	創生本部コメント 基本目標に直接効果のある施策である。			
②施策の方向性に対して事業設定が妥当かどうか	必要性	有効性	効率性	本部評価
	大いにある	高い	高い	一部見直し
	創生本部コメント 6次産業化支援センターの利用者確保に向けて取組みを強化すること。			

4. 今後の方向性「ACTION(改善)」

次年度において対応すべき事項	創生本部コメント
	KPI推移は上がっているものの、目標達成には事業改善などの更なる努力を要する。その後も多くは事業を継続しているものの、新たな雇用などへの効果など、追跡・検証を行い、必要な見直しを行うこと。

まち・ひと・しごと・ふるさと養父市創生総合戦略 施策評価シート

1. 施策概要「PLAN(計画)」

番号	2	-	2
----	---	---	---

基本目標②	“チャレンジできるまち”に ⇒恵まれた機会と養父市が持つ強みを生かし、養父らしい 「しごと」を創る		◇新たな雇用創出数200人/5年間 ◇新たな起業・創業件数50件/5年間			
施策	概要		KPI	目標値		
2 産業連携の強化(農・食・健康関連産業のバリューチェーンの形成)	地域産業の連携による商品・サービスの開発や販路開拓等の支援を行う。特に疲労回復・健康・長寿をテーマにした地元食材によるグルメや温泉など、農・食・健康関連産業のバリューチェーン形成を図り、地域に人・モノ・カネの流れを生み出す。		地域産業連携支援制度を活用した産業連携事業者数	当初	15件(累計)	
				2次	25件(累計)	
KPI推移	H27	H28	H29	H30	H31	備考
	4	11	16	21		

2. 実施状況「DO(実施)」

枝番	事業名	担当課	概要(目的と内容)	有効性 (事業継続の必要性)
	主な活動指標	H30活動実績	改善状況・今後の方向性 新規事業はR1の進捗状況(5月末現在)	H30成果実績
1	公募型企業間等連携推進支援事業補助金	商工観光課	地域産業の連携により、地域資源や経営資源を活用した商品・サービスの開発や販路開拓などに支援を行う。	○
	企業間連携、農商工連携、産学連携などに対する支援件数	3 件	5月中の公募により1次募集で定員となった。2次募集となると秋口から事業実施となり、十分な事業期間が取れないため、計画的に時期を定めて公募を行う。	3 件
2				
3				
4				
5				

3. 施策の分析「CHECK(評価)」と「検証」

①基本目標の視点から見た施策の評価について	必要性	有効性	効率性	本部評価
	大いにある	大いにある	やや高い	妥当である
	創生本部コメント 基本目標に直接効果のある施策である。			
②施策の方向性に対して事業設定が妥当かどうか	必要性	有効性	効率性	本部評価
	大いにある	大いにある	やや高い	妥当である
	創生本部コメント 施策に直接効果のある事業で妥当である。			

4. 今後の方向性「ACTION(改善)」

次年度において対応すべき事項	創生本部コメント KPIを達成したため、2次目標値を設定する。 その後の継続状況や、雇用への効果など動向を把握し、より効果を高めること。
----------------	--

まち・ひと・しごと・ふるさと養父市創生総合戦略 施策評価シート

1. 施策概要「PLAN(計画)」

番号	2	-	3
----	---	---	---

基本目標②	“チャレンジできるまち”に ⇒恵まれた機会と養父市が持つ強みを生かし、養父らしい 「しごと」を創る		◇新たな雇用創出数200人/5年間 ◇新たな起業・創業件数50件/5年間			
施策	概要			KPI	目標値	
2 但馬牛のブランド化や畜産経営の効率化の推進	但馬牛のブランド化を一層促進し、畜産業の担い手確保に繋げるとともに、養豚、養鶏を含めた畜産農家の経営安定を図る。			和牛飼養頭数	2500頭	
KPI推移	H27	H28	H29	H30	H31	備考
	2,264	2,593	2,939	3,268		

2. 実施状況「DO(実施)」

枝番	事業名	担当課	概要(目的と内容)	有効性 (事業継続の必要性)
主な活動指標		H30活動実績	改善状況・今後の方向性 新規事業はR1の進捗状況(5月末現在)	H30成果実績
1	畜産振興対策事業費	農林振興課	安定した畜産経営の育成のため、和牛飼育ヘルパーに係る補助、優良雌牛維持確保のための補助等を実施。	○
	優良雌子牛の自家保留・導入支援	32 頭	持続可能な畜産業の形成に必要な地域資源循環の取組みに対する補助制度を創設した。但馬牛の振興施策については、規模拡大と環境保全とのバランスを保っていく必要があり、排せつ物処理の方法について構築連携や広域流通などのマッチングを合わせておこなっていく必要がある。	3268 頭
2	和牛クラスター推進事業	農林振興課	安定した畜産経営の育成のため、施設整備や雌子牛の導入を補助金により支援する。	○
	飼養管理施設	0 棟	持続可能な畜産業の形成に必要な地域資源循環の取組みに対する補助制度を創設した。但馬牛の振興施策については、規模拡大と環境保全とのバランスを保っていく必要があり、排せつ物処理の方法について構築連携や広域流通などのマッチングを合わせておこなっていく必要がある。	(3268) 頭
3	酪農・和牛農家連携経営体強化事業	農林振興課	安定した畜産経営の育成のため、乳量や遺伝的に優れた乳牛の増頭を図れる精判別精液の購入を支援する。	○
	精判別精液導入数	35 本	予算措置状況と制度のあらましを農家へ周知している。高性能精液は、優秀な牛が生まれる点では精判別精液と変わらないが、雌雄同率で生まれるとされるため経営基盤の安定には繋がらないので見送り、現行の制度の周知により利用者の充実を図る。	(3268) 頭

3. 施策の分析「CHECK(評価)」と「検証」

①基本目標の視点から見た施策の評価について	必要性	有効性	効率性	本部評価
	大いにある	大いにある	高い	妥当である
創生本部コメント 基本目標に直接効果のある施策である。				
②施策の方向性に対して事業設定が妥当かどうか	必要性	有効性	効率性	本部評価
	大いにある	大いにある	高い	妥当である
創生本部コメント 施策に直接効果のある事業で妥当である。				

4. 今後の方向性「ACTION(改善)」

次年度において対応すべき事項	<p>創生本部コメント</p> <p>KPIを達成したため、より効果を引き上げていくこと。 堆肥の広域的活用についても検討すること。</p>
----------------	--



まち・ひと・しごと・ふるさと養父市創生総合戦略 施策評価シート

1. 施策概要「PLAN(計画)」

番号	2	-	4
----	---	---	---

基本目標②	“チャレンジできるまち”に ⇒恵まれた機会と養父市が持つ強みを生かし、養父らしい 「しごと」を創る		◇新たな雇用創出数200人/5年間 ◇新たな起業・創業件数50件/5年間			
施策	概要		KPI	目標値		
2 多様な起業・創業の促進	農業・林業・観光・子育て・福祉分野をはじめ幅広い起業・創業の立ち上げを促進するとともに、販路拡大、技術・業務提携、資金調達など一貫した成長発展を促す仕組みを構築する。		起業・創業支援制度を活用した起業・創業件数	当初 30件(累計) 2次 45件(累計)		
			備考			
KPI推移	H27	H28	H29	H30	H31	備考
	5	13	32	45		

2. 実施状況「DO(実施)」

枝番	事業名	担当課	概要(目的と内容)	有効性 (事業継続の必要性)
	主な活動指標	H30活動実績	改善状況・今後の方向性 新規事業はR1の進捗状況(5月末現在)	H31成果実績
1	創業・事業承継支援事業	商工観光課	創業・事業承継を促進するため、創業塾の開催による知識の習得と創業・第二創業時の経費の補助を行う。	○
	起業者支援事業による補助件数	12件	実績を大きく伸ばした前年度の事業実施方法を踏襲しつつ、周知の強化を図る。市内商工業者の最大の課題である事業承継の契機として補助金が有効活用されるよう、商工会及び金融機関等と連携して事業を進める。	12件
2	企業等振興奨励金事業	商工観光課	事業拡大や創業、新商品開発等への取り組みを支援する。	○
	事業拡充、新規創業、販路開拓等に対する奨励措置件数	84社	事業者向けの事業説明会等での事業説明や制度PRチラシを配布し周知を行った。条例を改正し、スキルアップに関連した新たな奨励措置を設けるほか、「働き方改革支援条例」対象事業社には要件を緩和して活用できるよう制度を整える。	1件
3	養父市企業支援センター事業(拡充分)	商工観光課	経営革新や事業拡大等の支援のため、景況調査の実施とマッチングサイト「やぶビズ」を管理運営する。	○
	やぶビズ新規登録事業者数	15社	マッチングサイトの機能として、商談機能・後継者募集機能・企業特集ページ等を拡充した。引き続き登録の呼びかけを行うとともに、アンケート等によりニーズの把握に努める。	0件
4	養父市企業支援センター事業(既存)	商工観光課	商工業者の経営革新や事業拡大の支援のため、専門家派遣による相談業務を行う。	○
	専門家派遣による相談件数	74件	経営改善等の相談は商工会職員で対応するよう依頼し、事業者の相談は多岐(経営改善、商品開発、創業等)に渡っているが、事業者の展望が実現できるように努めていく。	0件

3. 施策の分析「CHECK(評価)」と「検証」

①基本目標の視点から見た施策の評価について	必要性	有効性	効率性	本部評価
	大いにある	大いにある	高い	妥当である
	創生本部コメント 基本目標に直接効果のある施策である。			
②施策の方向性に対して事業設定が妥当かどうか	必要性	有効性	効率性	本部評価
	大いにある	大いにある	高い	一部見直し
	創生本部コメント 一部の事業については、活動実績は活発であるものの、起業・創業件数に直結していないことから、ニーズを把握し、内容を見直すこと。			

4. 今後の方向性「ACTION(改善)」

次年度において対応すべき事項	創生本部コメント KPIの2次目標も達成した。より効果を引き上げていくこと。 事業の継続状況についてはフォローアップ調査を行っているが、雇用数への効果など検証を行うこと。
----------------	---

まち・ひと・しごと・ふるさと養父市創生総合戦略 施策評価シート

1. 施策概要「PLAN(計画)」

番号	2	-	4
----	---	---	---

基本目標②	“チャレンジできるまち”に ⇒恵まれた機会と養父市が持つ強みを生かし、養父らしい 「しごと」を創る		◇新たな雇用創出数200人/5年間 ◇新たな起業・創業件数50件/5年間			
施策	概要		KPI	目標値		
2 多様な起業・創業の促進	農業・林業・観光・子育て・福祉分野をはじめ幅広い起業・創業の立ち上げを促進するとともに、販路拡大、技術・業務提携、資金調達など一貫した成長発展を促す仕組みを構築する。		起業・創業支援制度を活用した起業・創業件数	当初	30件(累計)	
				2次	45件(累計)	
KPI推移	H27	H28	H29	H30	H31	備考

2. 実施状況「DO(実施)」

枝番	事業名	担当課	概要(目的と内容)	有効性 (事業継続の必要性)
	主な活動指標	H30活動実績	改善状況・今後の方向性 新規事業はR1の進捗状況(5月末現在)	H31成果実績
5	6次産業化支援センター施設管理費(再掲)	商工観光課	6次化・農商工連携の推進、起業・事業展開支援のため、活動の場の提供と6次化の普及・促進、相談を行う。	○
	本施設への入居事業者数	2社	進捗・執行状況把握のためモニタリングを月1回程度実施し、利用者満足度調査を実施し必要な助言・指導を行う。第三者の視点での評価指標化と、利用者の声を広く取り入れ、提供する市民サービスの向上を図る。	-件
6				
7				
8				

3. 施策の分析「CHECK(評価)」と「検証」

①基本目標の視点から見た施策の評価について	必要性	有効性	効率性	本部評価
	創生本部コメント			
②施策の方向性に対して事業設定が妥当かどうか	必要性	有効性	効率性	本部評価
	創生本部コメント			

4. 今後の方向性「ACTION(改善)」

次年度において対応すべき事項	創生本部コメント
----------------	----------

まち・ひと・しごと・ふるさと養父市創生総合戦略 施策評価シート

1. 施策概要「PLAN(計画)」

番号	2	-	5
----	---	---	---

基本目標②	“チャレンジできるまち”に ⇒恵まれた機会と養父市が持つ強みを生かし、養父らしい「しごと」を創る				◇新たな雇用創出数200人/5年間 ◇新たな起業・創業件数50件/5年間	
施策	概要				KPI	目標値
2 農業を担う人材・経営体の育成 【特区関連】	新規就農者への支援の充実、雇用の受け皿となる法人化を促進することにより、農業の担い手を育成する。また、おおや高原・轟高原などの特徴あるロケーションでの農業の担い手を呼び込む仕組みを構築する。				新規就農者・経営体数	20人(社) (累計)
KPI推移	H27 7社/0人	H28 11社/3人	H29 12社/7人	H30 13社/9人	H31	備考

2. 実施状況「DO(実施)」

枝番	事業名	担当課	概要(目的と内容)	有効性 (事業継続の必要性)
	主な活動指標	H30活動実績	改善状況・今後の方向性 新規事業はR1の進捗状況(5月末現在)	H30成果実績
1	担い手経営発展支援事業	農林振興課	農業経営の法人化及び集落営農の組織化の取組み支援のため、補助金を交付する。	○
	農業経営体の法人化数	1 社	県主催するセミナー等にも積極的に参加を促進し、組織化や法人化への知識習得を支援。集落営農組織の法人化においては、意欲のある組織に対して税理士や社労士等の専門家と相談する機会を設けることで、法人化に向けた取組みを推進する。	1 社
2	担い手総合支援事業(農業次世代人材投資、経営体育成支援事業)	農林振興課	担い手の確保等のため、新規就農者の確保・定着、規模拡大に向けた設備導入を支援。	○
	新規就農者数	2 人	就農状況のヒアリングや現地確認等を関係機関でまとめて実施して事業者負担の軽減を図り、対象事業者ごとに担当者を設定し、事業者の経営に関する実情や事業計画等を詳細にヒアリングした。また収納状況ヒアリングの回数を増やし、営農における就農者毎の詳細な課題点の追求や対応策を検討。経営規模拡大を予定する事業者に対して、人・農地プランや集落営農組織化等の総合的な支援を図る。	2 人
3	小さな農家活用応援事業	やぶぐらし課	空き家と農地をセットで取得した者に対する支援を行うことにより、移住者の農ある暮らしの実現を図る。	○
	小さな農家活動応援事業補助件数	5 人	農地政策課と連携し、条件に合う空き家購入者にPR及び営農相談(希望者のみ)を行う。空き家バンク物件登録時に農地登録も同時に行うことで、交渉をスムーズに行うことができることから登録を促していく。新規就農者としては計上しない。	- 人
4	GAP認証継続支援事業	農林振興課	農業生産者等に対してGAP取得等を支援し、農業生産の質を向上させ、農産物販売の促進を図る。	○
	GAP認証継続取得件数	0 人	セミナーが県により定期開催されることとなったため、市での実施を取り止め、県との連携を強化し、新規取得から更新まで幅広く支援する。	- 人

3. 施策の分析「CHECK(評価)」と「検証」

①基本目標の視点から見た施策の評価について	必要性	有効性	効率性	本部評価
		大いにある	大いにある	高い
創生本部コメント 基本目標に直接効果のある施策である。				
②施策の方向性に対して事業設定が妥当かどうか	必要性	有効性	効率性	本部評価
		大いにある	概ねある	高い
創生本部コメント 施策に直接効果のある事業であり妥当である。				

4. 今後の方向性「ACTION(改善)」

次年度において対応すべき事項	創生本部コメント KPIを達成したため、より効果を上げていくこと。 新規就農者等のその後の状況など、継続調査を行うこと。 農業機械の女性向け講習会など、就農につながる場の設定など幅広い支援を行うこと。
----------------	---

まち・ひと・しごと・ふるさと養父市創生総合戦略 施策評価シート

1. 施策概要「PLAN(計画)」

番号	2	-	5
----	---	---	---

基本目標②	“チャレンジできるまち”に ⇒恵まれた機会と養父市が持つ強みを生かし、養父らしい 「しごと」を創る		◇新たな雇用創出数200人/5年間 ◇新たな起業・創業件数50件/5年間	
施策	概要		KPI	目標値
2 農業を担う人材・経営体の育成 【特区関連】	新規就農者への支援の充実、雇用の受け皿となる法人化を促進することにより、農業の担い手を育成する。また、おおよ高原・轟高原などの特徴あるロケーションでの農業の担い手を呼び込む仕組みを構築する。		新規就農者・経営体数	20人(社)
KPI推移	H27 7社/0人	H28 11社/3人	H29 12社/7人	H30 13社/9人
			H31	備考

2. 実施状況「DO(実施)」

枝番	事業名	担当課	概要(目的と内容)	有効性 (事業継続の必要性)
	主な活動指標	H30活動実績	改善状況・今後の方向性 新規事業はH31の進捗状況(5月末現在)	H30成果実績
5	養父市Lプロジェクト事業	農林振興課	女性の農業分野への進出と農業の活性化のため、女性向け草刈機の普及拡大を通じて農業の実践を奨励する。	○
	養父市の女性農業者の意見の聞き取り及び意見を取り入れた商品の開発	3人	やぶぐらし課のアグリ女子会と連携して女性の意見を取り入れた農作業着の開発を行った。平成30年度をもって事業終了となったため、成果として完成した農作業着の広報PRを行う。	-
6	耕作放棄地再生事業	農林振興課	農地確保、農業経営の開始に資するため、農地へ再生する整備・土地改良費用に補助金を交付する。	○
	耕作放棄地再生事業	37a	補助金額を30,000円/10aとしていたが、国・県と同額の50,000円/10aとした。農業振興の一助となつてはいるが次年度以降も継続していくのか検討が必要。	-
7				
8				

3. 施策の分析「CHECK(評価)」と「検証」

①基本目標の視点から見た施策の評価について	必要性	有効性	効率性	本部評価
	創生本部コメント			
②施策の方向性に対して事業設定が妥当かどうか	必要性	有効性	効率性	本部評価
	創生本部コメント			

4. 今後の方向性「ACTION(改善)」

次年度において対応すべき事項	創生本部コメント
----------------	----------

まち・ひと・しごと・ふるさと養父市創生総合戦略 施策評価シート

1. 施策概要「PLAN(計画)」

番号	2	-	6
----	---	---	---

基本目標②	“チャレンジできるまち”に ⇒恵まれた機会と養父市が持つ強みを生かし、養父らしい 「しごと」を創る		◇新たな雇用創出数200人/5年間 ◇新たな起業・創業件数50件/5年間	
施策	概要		KPI	目標値
2 企業立地の促進と規模拡大・第2 創業などがんばる事業者の支援	新たに立地する企業への支援や第2創業、事業拡大、設備 の近代化、見本市への出展、新エネルギー設備の導入な ど頑張る市内事業者を支援し、商工業の振興を図る。		企業立地・規模拡大等支 援した事業者数	のべ100社 (累計)
KPI推移	H27 21社	H28 42社	H29 73社	H30 110社
				H31 備考 企業等振興奨励制度を活用し た事業者数

2. 実施状況「DO(実施)」

枝番	事業名	担当課	概要(目的と内容)	有効性 (事業継続の必要性)
	主な活動指標	H30活動実績	改善状況・今後の方向性 新規事業はR1の進捗状況(5月末現在)	H30成果実績
1	企業等振興奨励金事業	商工観光課	事業拡大や創業、新商品開発等への取り組みを支援する。	○
	事業拡充、新規創業、販路開拓等 に対する奨励措置件数	84社	商工会との情報交換会や金融機関等が設ける事業者向け の事業説明会等での事業説明や、制度PRチラシの配布等 周知を行った。また条例を改正し、スキルアップに関連した 新たな奨励措置を設けるほか、新たに「働き方改革支援条 例」を設け、本条例に基づいて計画を作成した事業者には 既存の奨励措置を活用する際に、要件を緩和して活用でき るよう制度を整える。	37社
2	養父市企業支援センター事業(マッ チングサイト)(再掲)	商工観光課	経営革新や事業拡大等の支援のため、景況調査の実施と マッチングサイト「やぶビズ」を管理運営する。	○
	やぶビズ新規登録事業者数	7社	マッチングサイトの機能として、商談機能・後継者募集機 能・企業特集ページ等を拡充した。引き続き登録の呼びか けを行うとともに、アンケート等によりニーズの把握に努め る。	-社
3	養父市企業支援センター事業(既 存)(再掲)	商工観光課	商工業者の経営革新や事業拡大の支援のため、専門家派 遣による相談業務を行う。	○
	専門家派遣による相談件数	75件	経営改善等の相談は商工会職員で対応するよう依頼し、 事業者の相談は多岐(経営改善、商品開発、創業等)に渡 り、事業者の展望が実現できるように努めていく。	-社
4	商工業融資事業費	商工観光課	中小企業者への事業拡大や創業、新商品開発等への取 組支援のため、債務負担保証、利子補給を行う。	○
	中小企業融資制度(アグリ特区保証 含む)	23件	商工会との情報交換会や金融機関等による事業者向けの 事業説明会等で説明を行うほか、制度PRチラシを配布し周 知を行う。アグリ特区保証については、農業関係の制度と 連携し、優遇措置を設ける。	-社

3. 施策の分析「CHECK(評価)」と「検証」

①基本目標の視 点から見た施策の 評価について	必要性	有効性	効率性	本部評価
	大いにある	大いにある	高い	妥当である
	創生本部コメント 基本目標に直接効果のある施策である。			
②施策の方向性 に対して事業設定 が妥当かどうか	必要性	有効性	効率性	本部評価
	大いにある	大いにある	高い	妥当である
	創生本部コメント 施策に直接効果のある事業で妥当である。 その後についてもフォローアップ調査等行っており、適宜見直しができる状況にある。			

4. 今後の方向性「ACTION(改善)」

次年度において対 応すべき事項	KPIを達成したため、より効果を高めていくこと。 創生本部コメント
--------------------	--------------------------------------

まち・ひと・しごと・ふるさと養父市創生総合戦略 施策評価シート

1. 施策概要「PLAN(計画)」

番号	2	-	6
----	---	---	---

基本目標②	“チャレンジできるまち”に ⇒恵まれた機会と養父市が持つ強みを生かし、養父らしい 「しごと」を創る		◇新たな雇用創出数200人/5年間 ◇新たな起業・創業件数50件/5年間	
施策	概要		KPI	目標値
2 企業立地の促進と規模拡大・第2創業などがんばる事業者の支援	新たに立地する企業への支援や第2創業、事業拡大、設備の近代化、見本市への出展、新エネルギー設備の導入など頑張る市内事業者を支援し、商工業の振興を図る。		企業立地・規模拡大等支援した事業者数	のべ100社 (累計)
KPI推移	H27 21社	H28 42社	H29 73社	H30 110社
備考 企業等振興奨励制度を活用した事業者数				

2. 実施状況「DO(実施)」

枝番	事業名	担当課	概要(目的と内容)	有効性 (事業継続の必要性)
	主な活動指標	H30活動実績	改善状況・今後の方向性 新規事業はR1の進捗状況(5月末現在)	H30成果実績
5	商工振興事業費(販路開拓事業助成金)	商工観光課	小規模事業者の持続的に安定した経営を図るため、チラシ広報費及び新規取引先への物流費への助成を行う。	○
	販路開拓(チラシ、サンプル商品などの宣伝広報費)に対する支援	22 件	商工会との情報交換会や金融機関等による事業者向けの事業説明会等で説明を行うほか、制度PRチラシを配布し周知を行う。国の「小規模事業者持続化補助金」の公募開始時期や採択結果の時期を逐次確認する。	- 社
6	6次産業化支援センター施設管理費(再掲)	商工観光課	6次化・農商工連携の推進支援、創業・事業展開支援のため、活動の場の提供と6次化の普及・促進、相談を行う。	○
	本施設への入居事業者数	2 社	前年度セミナー参加者に対し、個別支援を行うことで、6次産業化への取組を促進させる。兵庫県内の起業家支援施設と連携を図り、各施設間の相互利用など、利用者確保に取り組む。	- 社
7	養父市ブランド創出事業費	商工観光課	魅力ある地域資源を発信し地域経済の発展と活性化のため、地域ブランド品として認定し販路開拓等を支援する。	○
	ブランド認定品の新規登録数	2 点	認定品の普及啓発を行うとともに、商工会等を通しての制度のPRを行った。商品開発等に係る補助金の利用を促進し、それにより開発された商品を太鼓判へ申請するよう誘導するなど、認定品の充実を図る。また、広報PRの機会(ふるさと納税サイト等)を増やし、制度及び商品の周知を図る。	- 社
8	企業誘致促進事業費	商工観光課	経済及び雇用の活性化のため、市外企業等に対し産業立地施策等をPRし、当市への企業進出を促す。	○
	誘致フェアへの出店	1 回	市のビジネスマッチングサイト(やぶビズ)の機能強化により、空き工場や店舗等の掲載を始めるなど、幅広い情報の発信に努めている。民間所有の空き工場や事業用地等の情報収集を行い、サイト上の掲載情報の充実を図る。	- 社

3. 施策の分析「CHECK(評価)」と「検証」

①基本目標の視点から見た施策の評価について	必要性	有効性	効率性	本部評価
	創生本部コメント			
②施策の方向性に対して事業設定が妥当かどうか	必要性	有効性	効率性	本部評価
	創生本部コメント			

4. 今後の方向性「ACTION(改善)」

次年度において対応すべき事項	創生本部コメント
----------------	----------

まち・ひと・しごと・ふるさと養父市創生総合戦略 施策評価シート

1. 施策概要「PLAN(計画)」

番号	2	-	7
----	---	---	---

基本目標②	“チャレンジできるまち”に ⇒恵まれた機会と養父市が持つ強みを生かし、養父らしい 「しごと」を創る		◇新たな雇用創出数200人/5年間 ◇新たな起業・創業件数50件/5年間			
施策	概要		KPI	目標値		
2 近代化産業遺産の活用	兵庫県が推進する「鉱石の道」プロジェクトと連携し、明延鉱山「一円電車」の復活等による観光資源に磨きをかける取組を推進する。		明延地区の年間来訪者	100,000人		
KPI推移	H27	H28	H29	H30	H31	備考
	13,693人	12,613人	14,990人	13,626人		

2. 実施状況「DO(実施)」

枝番	事業名	担当課	概要(目的と内容)	有効性 (事業継続の必要性)
	主な活動指標	H30活動実績	改善状況・今後の方向性 新規事業はR1の進捗状況(5月末現在)	H30成果実績
1	明延活性化事業	大屋地域局	地域経済の活性化、雇用機会の増大等を図るため、一円電車の運行や探検坑道等の地域振興事業を進める。	○
	一円電車乗車数	4,813 人	運行スタッフの技術向上スキルアップ講習会を実施するとともに、「鉱石の道」明延実行委員会の協力によりGWや夏休み期間中等の運行機会を増やす。また、軌道敷きを周回軌道に改良により新たに可能となる付加価値のある新たな事業を検討する。「日本遺産」認定を活かし、明延地域に散在する貴重な鉱山遺産群の保存と再生、活用による明延地域の活性化を推進する。一円電車の周回軌道を整備し体験乗車会だけでなく高い収益を見込むことができる事業の検討を行う。また、運行スタッフのスキルアップや探検坑道ガイドの養成、確保は引き続き継続して実施する。	13,626 人
2	あけのべ自然学校運営事業	商工観光課	教育活動推進と地域の明延地域の交流人口の増加のため、施設の管理運営、産業遺産群の保存活用を行う。	○
	自然学校施設利用者数	2,279 人	日本遺産認定により探検坑道見学者が増加しており、これを好機に施設利用者の確保に努めているが、改善には至っていない。明延鉱山探検坑道見学者数は増加傾向にあるが、自然学校施設利用者数は減少傾向にある。坑道見学者を自然学校に滞在させる仕組みづくりとして、鉱石の道推進協議会等の関連団体と連携した広報PR活動を行っている。	(13,626) 人
3				

3. 施策の分析「CHECK(評価)」と「検証」

①基本目標の視点から見た施策の評価について	必要性	有効性	効率性	本部評価
	大いにある	大いにある	高い	廃止
	創生本部コメント 近代化産業遺産の活用は重要な施策であるものの、現時点では基本目標に繋がる可能性が見えない。新たな雇用や起業への道筋ができるまで戦略の位置づけから外すこととする。			
②施策の方向性に対して事業設定が妥当かどうか	必要性	有効性	効率性	本部評価
	概ねある	どちらかというところ	普通	抜本的見直し
	創生本部コメント 施策に対して直接効果のある事業であるが、収益確保や新たな雇用等につなげていない。			

4. 今後の方向性「ACTION(改善)」

次年度において対応すべき事項	創生本部コメント 現在の進捗ではKPI達成には厳しく、また新たな雇用や起業創出に繋がっていない。戦略の位置づけから外すが、方向性や事業の見直しについては引き続き行うこと。
----------------	--

まち・ひと・しごと・ふるさと養父市創生総合戦略 施策評価シート

1. 施策概要「PLAN(計画)」

番号	2	-	8
----	---	---	---

基本目標②	“チャレンジできるまち”に ⇒恵まれた機会と養父市が持つ強みを生かし、養父らしい 「しごと」を創る		◇新たな雇用創出数200人/5年間 ◇新たな起業・創業件数50件/5年間			
施策	概要		KPI	目標値		
2 伝統産業のイノベーションプロジェクトの推進	伝統産業であった養蚕産業を従来のシルク製品にとどまらず、美容健康分野、医学的利用も視野に入れた新たな産業として再生の可能性に向けた検討を行う。また、養蚕と関わり深い養蠶産業の再生もあわせて検討する。		養蚕関連事業に取り組む事業者数	1事業者		
KPI推移	H27	H28	H29	H30	H31	備考
	0	0	0	0		

2. 実施状況「DO(実施)」

枝番	事業名	担当課	概要(目的と内容)	有効性 (事業継続の必要性)
	主な活動指標	H30活動実績	改善状況・今後の方向性 新規事業はR1の進捗状況(5月末現在)	H30成果実績
1	養蚕プロジェクト事業	企画政策課	官民協働の研究会を立ち上げ、養蚕を軸にした地域振興計画を策定し、新産業事業所の設立を目指す。	○
	研究会の開催	3回	大学と連携した事業実施の調整を図り、地元事業者、福祉関連施設などの調査視察を行った。事業実施に向けて大筋の決定ができた事業の方向性を定め、養父市にあった養蚕のあり方を定めた。事業実施に向けて、大学、その他関係者との調整を早急に行い、早期事業着手を行う。	事業者 0
2	伝統的建造物群景観調査事業費	社会教育課	重要伝統的建造物群保存地区の選定に向けて調査事業を推進し平成29年7月に国の選定を受けた。	○
	建造物調査報告書の作成	0	担い手である保存会の育成や大杉地区における集客イベントの開催による地域の活性化、木彫展示館の活用、建造物修理体制の確立、空き家対策、景観の保全対策など課題は多い。着実に向上させる。	事業者 -
3				
4				

3. 施策の分析「CHECK(評価)」と「検証」

①基本目標の視点から見た施策の評価について	必要性	有効性	効率性	本部評価
	大いにある	大いにある	低い	廃止
	創生本部コメント 現在新産業としてではなく農福連携によるカイコの活用など事業内容が変わってきており、戦略の位置づけからは外すこととする。			
②施策の方向性に対して事業設定が妥当かどうか	必要性	有効性	効率性	本部評価
	大いにある	概ねある	普通	抜本の見直し
	創生本部コメント 事業内容の見直し等を行うこと。			

4. 今後の方向性「ACTION(改善)」

次年度において対応すべき事項	創生本部コメント 戦略の施策としては外すが、今後も農福連携によるカイコの活用を含め、さまざまな事業者と連携しながら養蚕事業を育成して行くこと。
----------------	--



まち・ひと・しごと・ふるさと養父市創生総合戦略 施策評価シート

1. 施策概要「PLAN(計画)」

番号	2	-	9
----	---	---	---

基本目標②	“チャレンジできるまち”に ⇒恵まれた機会と養父市が持つ強みを生かし、養父らしい 「しごと」を創る		◇新たな雇用創出数200人/5年間 ◇新たな起業・創業件数50件/5年間			
施策	概要		KPI	目標値		
2 国家戦略特区(農業分野以外)の推進	国家戦略特区の強みを生かして農業分野以外の規制緩和による経済活動を促進するための取組を行う。		新たな規制緩和提案数(農業分野以外)	当初	3件	
				2次	6件	
KPI推移	H27	H28	H29	H30	H31	備考
	2	2	3	5		

2. 実施状況「DO(実施)」

枝番	事業名	担当課	概要(目的と内容)	有効性 (事業継続の必要性)
	主な活動指標	H30活動実績	改善状況・今後の方向性 新規事業はR1の進捗状況(5月末現在)	H30成果実績
1	国家戦略特区・地方創生事業	国家戦略特区・地方創生	各規制緩和の実践や新たな規制緩和の提案など特区を推進し、本市の経済活性化や住民福祉の向上に努める。	○
	新たな規制緩和提案数	2件	神戸大学と連携し、経済学的視点から国家戦略特区の効果を検証する。また、特区シンポジウムを開催し市内外に対し特区の取組を発信する。また検証した経済効果について積極的にPRするとともに、関係各所と連携しながら新たな規制緩和の提案を行う。	2件
2				
3				
4				

3. 施策の分析「CHECK(評価)」と「検証」

①基本目標の視点から見た施策の評価について	必要性	有効性	効率性	本部評価
	大いにある	大いにある	高い	妥当である
	創生本部コメント 基本目標に直接効果のある施策である。			
②施策の方向性に対して事業設定が妥当かどうか	必要性	有効性	効率性	本部評価
	大いにある	大いにある	高い	妥当である
	創生本部コメント 施策に直接効果のある事業で妥当である。人口減少社会を見据え、地域住民が幸せに暮らせる社会の実現のため、新たな規制緩和を提案すること。			

4. 今後の方向性「ACTION(改善)」

次年度において対応すべき事項	創生本部コメント KPIを達成したため、2次目標値を設定し、より効果を引き上げていくこと。
----------------	--

まち・ひと・しごと・ふるさと養父市創生総合戦略 施策評価シート

1. 施策概要「PLAN(計画)」

番号	3	-	1
----	---	---	---

基本目標③	“子育てしたいまち”に →安心して出産・子育てができる環境と地域全体で将来の 担い手を創る		◇出生数 770人/5年間			
施策	概要		KPI		目標値	
3 男女の出会いづくりと好感度の向上	独身男女の出会いやお見合い等のカップリングをコーディネートする人材や団体を育成し、出会いの機会をつくるとともに、自分磨きや異性との関わり方を学ぶセミナーなどの開催により、異性との関わりが円滑にできる男女を増やす。		世話人による成婚数		15組(累計)	
KPI推移	H27	H28	H29	H30	H31	備考
	3	6	8	13		

2. 実施状況「DO(実施)」

枝番	事業名	担当課	概要(目的と内容)	有効性 (事業継続の必要性)
	主な活動指標	H30活動実績	改善状況・今後の方向性 新規事業はR1の進捗状況(5月末現在)	H30成果実績
1	縁結び奨励金交付事業	やぶぐらし課	婚活支援のため縁結び世話人制度により婚活支援を行い、結婚・定住した場合、世話人に奨励金を交付する。	○
	世話人等の協力を得たイベント数	4回	結婚応援者全体のスキルの向上をめざしたセミナーを開催、また要綱を改正し世話人の活動を明確化した。結婚相談員との連携、合同研修会の開催、結婚相談員の意見交換、縁結び世話人のスキルアップをめざした要綱を制定。	3組
2	婚活支援事業補助金交付事業	やぶぐらし課	結婚者数の増加を図るため、独身男女の出会いの場やセミナーなどを実施する団体に対し、補助金を交付する。	○
	イベント件数(婚活支援事業補助金以外も含む)	13回	イベントで連絡先が交換できたカップルのうち継続してお付き合いしているケースは把握できていないことから、継続的に必要な支援(定期的な連絡、情報提供、助言、相談支援、仲立ちなど)を行ったことにより、結婚を成立させた団体にも奨励金を支給することとした。	-組
3	出会い応援セミナー事業	やぶぐらし課	コミュニケーションの苦手意識の克服のため、会話術やマナー等の向上セミナー講座後、イベントを開催する。	○
	セミナー等開催件数	3回	イベント補助だけでなく、婚活力を高めるセミナーについても補助対象とし、縁結び世話人を中心としたグループがスキルアップを絡めたイベントを開催。市が主催するだけでなく、多様な団体が取り組めるようにしていく。	-組
4	結婚相談事業補助金	社会福祉課	成婚と地域活性化のため、結婚相談員の設置、結婚相談所の開設等、社協への補助を行う。	○
	成婚数	2組	毎週木曜日の夜に告知放送をしたところ、相談件数が増加。結婚相談員が集まる連絡会の回数を増やし、情報交換を活発に行った。新規受付、紹介・相談、見合い、成婚、と全てにおいて実績が増加した。「ウエルシア薬局上筒店」が一般に開放するフリースペース「ウエルカフェ」を活用し、休日開設を視野に入れた「出張結婚相談」を実施する予定。	2組

3. 施策の分析「CHECK(評価)」と「検証」

①基本目標の視点から見た施策の評価について	必要性	有効性	効率性	本部評価
	大いにある	大いにある	高い	妥当である
創生本部コメント				
基本目標に直接効果のある施策である。				
②施策の方向性に対して事業設定が妥当かどうか	必要性	有効性	効率性	本部評価
	大いにある	概ねある	やや高い	一部見直し
創生本部コメント				
施策に直接効果のある事業であるが、若い人の感性で取り組めるよう事業の見直しを要する。				

4. 今後の方向性「ACTION(改善)」

次年度において対応すべき事項	創生本部コメント 現在の進捗でいけばKPI達成の見込み。引き続き各事業の円滑な進捗を図るとともに、多様な場の設定等、ニーズに応じた取組を進めること。
----------------	---

まち・ひと・しごと・ふるさと養父市創生総合戦略 施策評価シート

1. 施策概要「PLAN(計画)」

番号	3	-	2
----	---	---	---

基本目標③	“子育てしたいまち”に ⇒安心して出産・子育てができる環境と地域全体で将来の 担い手を創る		◇出生数 770人/5年間			
施策		概要		KPI		目標値
3 子どもを持ちたい希望をかなえる		不妊、不育に悩む夫婦や子育てが家族が希望する人数の子 どもを持てるよう支援し、経済的負担を軽減する。		中学生以下の子どもを持つ 世帯のうち多子世帯の 割合		60%
KPI推移	H27	H28	H29	H30	H31	備考
	57%	56%	57%	59%		

2. 実施状況「DO(実施)」

枝番	事業名	担当課	概要(目的と内容)	有効性 (事業継続の必要性)
	主な活動指標	H31活動実績	改善状況・今後の方向性 新規事業はR1の進捗状況(5月末現在)	H30成果実績
1	特定不妊治療費助成事業	健康課	出生率向上のため、特定不妊治療に係る費用を県助成金 を除く全額を対象に助成する。	○
	助成件数	30件	不妊や不妊治療について、相談しやすい体制づくりに引き 続き取り組む。	59%
2	多子世帯負担軽減事業	こども育成課	子育て環境の向上に資するため、多子世帯における保育 料の一部を補助する。	○
	補助対象児童数	19人	10月から3歳以上児及び3歳未満の非課税世帯児を対象 に保育料の無償化が実施されることにともない、本事業の 対象児がかなり限定される。	(59)%
3	多子世帯給食費負担軽減(参考)	学校給食センター	子育てに係る経済的負担を軽減するため、第2子以降の給 食費を半額にする。	
	—	-		
4	多子世帯保育料軽減(参考)	こども育成課	子育てに係る経済的負担の軽減のため、小学校6年生まで の範囲で保育料を2子目半額、3子目以降無料にする。	
	—	-		

3. 施策の分析「CHECK(評価)」と「検証」

①基本目標の視 点から見た施策の 評価について	必要性	有効性	効率性	本部評価
	大いにある	大いにある	高い	妥当である
創生本部コメント 基本目標に直接効果のある施策である。				
②施策の方向性 に対して事業設定 が妥当かどうか	必要性	有効性	効率性	本部評価
	大いにある	大いにある	高い	妥当である
創生本部コメント 施策に直接効果のある事業で妥当である。				

4. 今後の方向性「ACTION(改善)」

次年度において対 応すべき事項	創生本部コメント 現在の進捗でいけばKPI達成の見込み。引き続き各事業の円滑な進捗を図ること。 第1子の出生数の減少から多子世帯の割合が高くなる場合があるため留意が必要。 希望する子どもの数を持てるよう産み育てやすい環境の整備に取り組むこと。また、子育て施策 のPR等、基本目標①の施策とも連携しながら親となる若者世代の移住定住の促進にもつなげる こと。
--------------------	--

まち・ひと・しごと・ふるさと養父市創生総合戦略 施策評価シート

1. 施策概要「PLAN(計画)」

番号 3 - 3

基本目標③	“子育てしたいまち”に ⇒安心して出産・子育てができる環境と地域全体で将来の担い手を創る					◇出生数 770人/5年間	
施策		概要			KPI		目標値
3 妊娠から子育て期までの切れ目ない支援を展開		妊娠期から子育て期までの様々な支援をワンストップで切れ目なく展開するため、相談体制の充実と医療費、保育料の負担軽減を図る。また、雨天・冬季でも子どもが安全に遊べ、親同士のコミュニティの場となる環境を整備する。			この地域で子育てをしていきたい親の割合		80%
KPI推移	H27	H28	H29	H30	H31	備考	
	71%	70%	68%	66%			

2. 実施状況「DO(実施)」

枝番	事業名	担当課	概要(目的と内容)	有効性 (事業継続の必要性)
	主な活動指標	H30活動実績	改善状況・今後の方向性 新規事業はR1の進捗状況(5月末現在)	H30成果実績
1	母子保健事業費(産後ケア事業)	健康課	安心して子育てができる支援として、産後3ヶ月未満の母子を対象に心身のケア、乳児のケア等を実施する。	○
	宿泊型利用	48日	産後ケア事業につき、委託医療機関との連絡会を持つ必要がある。産後切れ目なく支援が受けられる体制が定着することで、育児不安を解消し、産後も安心して子育てができる。産後ケアを受けられる場所・人材の安定した確保とサービスの充実に引き続き取り組む。	66%
2	産後ケア事業「デイサービス型」	健康課	産後3か月未満の母子に対して心身のケアなど、専門的な指導やサービスを日帰りでも受けられる体制を構築。	○
	利用者数	52人	母体管理、乳房管理の必要な対象者が的確な時期に適時利用できるよう、平常時から情報提供しておくことが重要であり、他者との交流が少なく、孤立傾向にある等支援を要する母親の利用に関しては引き続き特に配慮する。	(66)%
3	母子保健事業費	健康課	安心して前向きに育児に取り組むことができるように、妊娠期から専門家や地域とつながりを持つよう支援する。	○
	妊娠のフォロー実施率	90%	妊娠届出時から就学までの全ケースにつき、月1回の定例会で進捗管理を行っているが、管理シートの改訂や支援プランを作成し、プランに沿った支援の展開ができるための検討や工夫を重ねて行く。	(66)%
4	子育てヘルパー事業	こども育成課	育児の不安感、負担感の解消、技術の継承のため、ヘルパーによる家事援助、育児支援を行う。	○
	ヘルパー派遣利用者数	8人	利用が望ましい家庭には、健康課などから個別に勧奨の声かけを随時行う。保護者の困りを把握しやすいこども園や、NPO法人など身近な場所にも利用申請書を設置。	(66)%
5	感染症予防事業費(定期・予防接種等)	健康課	感染症のり患を防ぐため、定期予防接種の啓発と勧奨を実施する。	○
	小児の定期予防接種率	90%	4月に個別案内を送った後、未接種者への接種勧奨を2月に実施し、年度内での接種を勧めた。今後も啓発と勧奨を継続する。	(66)%

3. 施策の分析「CHECK(評価)」と「検証」

①基本目標の視点から見た施策の評価について	必要性	有効性	効率性	本部評価
	大いにある	大いにある	高い	妥当である
	創生本部コメント 基本目標に直接効果のある施策である。			
②施策の方向性に対して事業設定が妥当かどうか	必要性	有効性	効率性	本部評価
	大いにある	概ねある	高い	一部見直し
	創生本部コメント 施策に直接効果のある事業だが、既存事業の見直しに加え、新たな事業を構築するなどの見直しを要する。			

4. 今後の方向性「ACTION(改善)」

次年度において対応すべき事項	創生本部コメント
	現在の進捗ではKPI達成には厳しい。アンケートの意見を分析し、施策や事業の見直しを行うこと。市が行う教育や子育てに係る施策や事業について、優位性を持ったものに重点化し、PRを強化するなど子育て世帯に対して養父市のイメージの向上を図ること。

まち・ひと・しごと・ふるさと養父市創生総合戦略 施策評価シート

1. 施策概要「PLAN(計画)」

番号	3	-	3
----	---	---	---

基本目標③	“子育てしたいまち”に →安心して出産・子育てができる環境と地域全体で将来の 担い手を創る		◇出生数 770人/5年間			
施策	概要			KPI		目標値
3 妊娠から子育て期までの切れ目 ない支援を展開	妊娠期から子育て期までの様々な支援をワンストップで切 れ目なく展開するため、相談体制の充実と医療費、保育料 の負担軽減を図る。また、雨天・冬季でも子どもが安全に遊 べ、親同士のコミュニティの場となる環境を整備する。			この地域で子育てをして いきたい親の割合		80%
KPI推移	H27	H28	H29	H30	H31	備考
	71%	70%	68%	66%		

2. 実施状況「DO(実施)」

枝番	事業名	担当課	概要(目的と内容)	有効性 (事業継続の必要性)
	主な活動指標	H30活動実績	改善状況・今後の方向性 新規事業はR1の進捗状況(5月末現在)	H30成果実績
6	乳幼児等医療費助成事業費(乳幼 児等医療助成)	保険医療課	子育て世帯等が安心して医療サービスが受けられるように、 小学3年生までの医療費自己負担分を全額助成する。	○
	乳幼児医療費助成給付件数	21,551 件	国保の医療費削減の取組とあわせ、適正な受診と後発医 薬品の利用を促すとともに、疾病予防事業とセットでのPR に努める。市民からは通常事業と認識されている感もあり、 子育て世帯が「本市で子育てしたい」と考えているか 疑問であり、移住してきた子育てママ等による広報活動を 引き続き、検討する。	(66) %
7	こども医療費助成事業	保険医療課	小4から中3までの子が安心して医療サービスを受けられる よう、医療費の自己負担額を全額助成する。	○
	助成件数	11,057 件	国保の医療費削減の取組とあわせ、適正な受診と後発医 薬品の利用を促すとともに、疾病予防事業とセットでのPR に努める。市民からは通常事業と認識されている感もあり、 子育て世帯が「本市で子育てしたい」と考えているか 疑問であり、移住してきた子育てママ等による広報活動を 引き続き、検討する。	(66) %
8	母子家庭等医療費助成事業	保険医療課	母子父子家庭、遺児が安心して医療サービスを受けられ るよう、医療費の自己負担分の一部を助成する。	○
	助成件数	1,101 件	県の制度にあわせた運用を行ってきた経過も踏まえ、現状 のまま運用する意向。ただし、今後、利用者の声も聞く中 で、市独自の対象要件の緩和等、ひとり親に対する支援強 化について検討する。	(66) %
9	未熟児養育医療費助成事業	保険医療課	専門医療が必要な未熟児とその親が安心して医療サー ビスが受けられるよう医療費の自己負担分を全額助成する。	○
	助成件数	5 件	事情により未熟児として出産せざるを得なかった人に対 するセーフティネット的な役割を担っている制度であり、特に 課題はないと考えている。	(66) %

3. 施策の分析「CHECK(評価)」と「検証」

①基本目標の視 点から見た施策の 評価について	必要性	有効性	効率性	本部評価
	創生本部コメント			
②施策の方向性 に対して事業設定 が妥当かどうか	必要性	有効性	効率性	本部評価
	創生本部コメント			

4. 今後の方向性「ACTION(改善)」

次年度において対 応すべき事項	創生本部コメント
--------------------	----------

まち・ひと・しごと・ふるさと養父市創生総合戦略 施策評価シート

1. 施策概要「PLAN(計画)」

番号	3	-	4
----	---	---	---

基本目標③	“子育てしたいまち”に →安心して出産・子育てができる環境と地域全体で将来の 担い手を創る		◇出生数 770人/5年間			
施策	概要		KPI		目標値	
3 子育てしながら働くことができる 多様な保育環境の充実	就労等の理由により家庭で子育てができない場合でも安心 して任せることのできる保育環境の充実を図る。		土曜日学童保育実施施 設数		9施設	
KPI推移	H27	H28	H29	H30	H31	備考
			9	9		

2. 実施状況「DO(実施)」

枝番	事業名	担当課	概要(目的と内容)	有効性 (事業継続の必要性)
主な活動指標		H30活動実績	改善状況・今後の方向性 新規事業はR1の進捗状況(5月末現在)	H30成果実績
1	学童保育事業	こども育成課	就労などにより昼間保護者が家庭にいない小学生に対し、 放課後や長期休業中、保護者に代わって保育を行う。	○
	土曜日利用児童数(延べ)	475人	平成30年度から開所時間を30分早め、7:30の開所としてお り、今後も継続予定。利用者実数は67人。	9施設
2	学童保育事業(学童一時預かり事業 補助金)	こども育成課	就労などにより日曜・祝日保護者が家庭にいない小学生に 対し、学童保育に対して補助を実施。	○
	一時預かり保育実施児童数	51人		(9)施設
3	一時預かり事業	こども育成課	緊急時や育児疲れ解消等に対応するため、認定こども園 等において未就園児の一時預かり事業を実施する。	○
	一時預かり保育実施園児数	306人	妊婦健診や乳幼児健診などの機会に周知を図る。適宜対 応できるよう、こども園等の実施施設が余裕ある職員配置 が必要。	(9)施設
4	私立こども園人材確保支援事業	こども育成課	公立で対応できない保育需要を私立園において補うため 人件費の助成より養父市の保育環境体制の構築を行う。	○
	助成件数	22件	給与だけでなく、職場環境も含めた処遇改善を行うため、 保育補助者雇上強化事業を実施、保育士の労働環境改善 の支援を行う。	(9)施設
5				

3. 施策の分析「CHECK(評価)」と「検証」

①基本目標の視 点から見た施策の 評価について	必要性	有効性	効率性	本部評価
	大いにある	大いにある	高い	妥当である
	創生本部コメント 基本目標に直接効果のある施策である。			
②施策の方向性 に対して事業設定 が妥当かどうか	必要性	有効性	効率性	本部評価
	大いにある	大いにある	高い	妥当である
	創生本部コメント 施策に直接効果のある事業であり、開所時間も見直しも行って おり妥当である。			

4. 今後の方向性「ACTION(改善)」

次年度において対 応すべき事項	創生本部コメント KPIを達成した。より効果を引き上げていくこと。 各事業の利用者へのアンケートや聞き取りを行い、効果の把握に努めること。
--------------------	---

まち・ひと・しごと・ふるさと養父市創生総合戦略 施策評価シート

1. 施策概要「PLAN(計画)」

番号	3	-	5
----	---	---	---

基本目標③	“子育てしたいまち”に ⇒安心して出産・子育てができる環境と地域全体で将来の 担い手を創る		◇出生数 770人/5年間			
施策	概要			KPI		目標値
3 高齢者等による子育てへの参加の促進	既存団体の活用やシルバー人材センターのしごとの場づくりとして、昔ながらの伝統・遊び・料理等を伝承する場を設けるとともに、豊かな自然環境を活かした多様な体験活動などを通じて、地域まるごと3世代による健やかでたくましい子育てを促進する。			高齢者が保育活動に関する件数	当初	100件 (累計)
					2次	270件 (累計)
KPI推移	H27	H28	H29	H30	H31	備考
	27	96	151	212		

2. 実施状況「DO(実施)」

枝番	事業名	担当課	概要(目的と内容)	有効性 (事業継続の必要性)
	主な活動指標	H30活動実績	改善状況・今後の方向性 新規事業はR1の進捗状況(5月末現在)	H30成果実績
1	放課後ふるさと教育事業費	こども育成課	養父市を愛する心の醸成を図るため、シルバー人材センター等の会員による文化や技術の継承を行う。	○
	放課後ふるさと教育実施回数	27回	シルバー人材センター等との打ち合わせを通じて、講座内容等を検討している。	27件
2	子育てヘルパー事業	こども育成課	育児の不安感、負担感の解消、技術の継承のため、ヘルパーによる家事援助、育児支援を行う。	○
	ヘルパー派遣利用者数	4人	利用が望ましい家庭には、健康課などから個別に勧奨の声かけを随時行う。保護者の困りを把握しやすいこども園や、NPO法人など身近な場所にも利用申請書を設置。	4件
3	高齢者と親子の交流ふれあい事業	介護保険課	介護予防や認知症予防を図るため幼児とその母親が高齢者施設やデイサービスを訪問し交流を図る。	○
	施設等への訪問件数	30回	訪問していない施設への意向確認等	30件
4				
5				

3. 施策の分析「CHECK(評価)」と「検証」

①基本目標の視点から見た施策の評価について	必要性	有効性	効率性	本部評価
	大いにある	大いにある	高い	妥当である
	創生本部コメント 基本目標に直接効果のある施策である。			
②施策の方向性に対して事業設定が妥当かどうか	必要性	有効性	効率性	本部評価
	大いにある	大いにある	高い	妥当である
	創生本部コメント 施策に直接効果のある事業で妥当である。			

4. 今後の方向性「ACTION(改善)」

次年度において対応すべき事項	<p>創生本部コメント</p> <p>KPIを達成したため、2次目標値を設定し、より効果を引き上げていくこと。各事業の利用者へのアンケートや聞き取りを行い、効果の把握に努めること。制度についてまずは知ってもらい、利用しやすい環境整備を行うこと。</p>
----------------	--

まち・ひと・しごと・ふるさと養父市創生総合戦略 施策評価シート

1. 施策概要「PLAN(計画)」

番号	3	-	6
----	---	---	---

基本目標③	“子育てしたいまち”に ⇒安心して出産・子育てができる環境と地域全体で将来の 担い手を創る		◇出生数 770人/5年間			
施策	概要		KPI	目標値		
3 就学に関する安全確保と経済的 負担の軽減	遠距離通学の児童・生徒に対し、安全な通学を確保 するための支援や高校通学に対する支援、大学進学 に伴う学費の支援など教育における経済的負担を軽 減する。		子育て世帯が経済的援助の 拡充を望む割合		50%	
KPI推移	H27	H28	H29	H30	H31	備考
	-	-	-	48.3%		H26:57.2%

2. 実施状況「DO(実施)」

枝番	事業名	担当課	概要(目的と内容)	有効性 (事業継続の必要性)
	主な活動指標	H30活動実績	改善状況・今後の方向性 新規事業はR1の進捗状況(5月末現在)	H30成果実績
1	若者未来応援奨学金事業(再掲)	教育総務課	就学支援及びUターンと定住促進のため、奨学金の交付 及び奨学金の返還猶予・免除を行う。	○
	奨学生の数	36人	所得制限を700万から500万に引き下げた。より経済的に 必要な人への奨学金となった。卒業して養父市へUターン することの意志確認と、動向確認を徹底する	48.3%
2	若者キャリアアップ支援事業(通信 教育等就学支援事業)	教育総務課	若者のキャリアアップに係る学びの支援のため、通信制大 学等の入学金、年間授業料に補助金を交付する。	○
	交付者数	1人	実績が低く、制度の周知を引き続き行う。	(48.3)%
3	小学校遠距離児童通学対策事業費	教育総務課	遠距離通学の児童に対し、通学バス(路線バス等)の定期 券の支給やスクールバスの運行を行う。	○
	対象となる保護者への実施率	100%	各学校の臨時便の要望回数や効果的な利用など調整が 必要。夏季休業日の短縮等に伴い運行日数が増えるた め、費用の増額が必要となる。	(48.3)%
4	中学校遠距離生徒通学対策事業費	教育総務課	遠距離通学の生徒に対し、バスの定期券の支給やスクー ルバスの運行及び自転車通学の補助を行う。	○
	対象となる保護者への実施率	100%	各学校の臨時便の要望回数や効果的な利用など調整が 必要。夏季休業日の短縮等に伴い運行日数が増えるた め、費用の増額が必要となる。	(48.3)%
5	高校生修学支援事業費	教育総務課	将来の養父市を担う人材の育成、子育て支援のため、定 期券購入費用の一部を補助する。	○
	利用者数	74人	制度内容を周知する。	(48.3)%

3. 施策の分析「CHECK(評価)」と「検証」

①基本目標の視 点から見た施策の 評価について	必要性	有効性	効率性	本部評価
	大いにある	大いにある	高い	妥当である
	創生本部コメント 基本目標に直接効果のある施策である。			
②施策の方向性 に対して事業設定 が妥当かどうか	必要性	有効性	効率性	本部評価
	大いにある	大いにある	高い	妥当である
	創生本部コメント 施策に直接効果のある事業で妥当である。			

4. 今後の方向性「ACTION(改善)」

次年度において対 応すべき事項	創生本部コメント KPIを達成したため、より効果を引き上げていくこと。 毎年度推移が把握できるような指標を検討する。
--------------------	--



まち・ひと・しごと・ふるさと養父市創生総合戦略 施策評価シート

1. 施策概要「PLAN(計画)」

番号	3	-	6
----	---	---	---

基本目標③	“子育てしたいまち”に ⇒安心して出産・子育てができる環境と地域全体で将来の 担い手を創る		◇出生数 770人/5年間			
施策	概要		KPI	目標値		
3 就学に関する安全確保と経済的 負担の軽減	遠距離通学の児童・生徒に対し、安全な通学を確保するた めの支援や高校通学に対する支援、大学進学に伴う学費 の支援など教育における経済的負担を軽減する。		子育て世帯が経済的援 助の拡充を望む割合	50%		
KPI推移	H27	H28	H29	H30	H31	備考
	-	-	-	48.3%		

2. 実施状況「DO(実施)」

枝番	事業名	担当課	概要(目的と内容)	有効性 (事業継続の必要性)
	主な活動指標	H30活動実績	改善状況・今後の方向性 新規事業はR1の進捗状況(5月末現在)	H30成果実績
6	多子世帯給食費負担軽減(参考)	学校給食センター	子育てに係る経済的負担を軽減するため、第2子以降の給 食費を半額にする。	○
	—	-		(48.3) %
7	多子世帯保育料軽減(参考)	こども育成課	子育てに係る経済的負担の軽減のため、小学校6年生まで の範囲で保育料を2子目半額、3子目以降無料にする。	○
	—	-		(48.3) %
8				
9				
10				

3. 施策の分析「CHECK(評価)」と「検証」

①基本目標の視 点から見た施策の 評価について	必要性	有効性	効率性	本部評価
	創生本部コメント			
②施策の方向性 に対して事業設定 が妥当かどうか	必要性	有効性	効率性	本部評価
	創生本部コメント			

4. 今後の方向性「ACTION(改善)」

次年度において対 応すべき事項	創生本部コメント
--------------------	----------

まち・ひと・しごと・ふるさと養父市創生総合戦略 施策評価シート

1. 施策概要「PLAN(計画)」

番号	4	-	1
----	---	---	---

基本目標④	“健康長寿のまち”に ⇒生涯現役で安心して幸せに暮らせる環境を創る		◇介護を必要としない人の年齢85歳			
施策	概要		KPI	目標値		
4 健康・体力づくりの推進	生活習慣病の予防と改善、健康寿命の延伸のため、壮年期からの健康づくりのため、運動や体力づくりを推進する。		週1回以上運動している人の割合	42%		
KPI推移	H27	H28	H29	H30	H31	備考 対象:65歳未満の市民ドック受診者
	35.6%	35.6%	36.9%	35.3%		

2. 実施状況「DO(実施)」

枝番	事業名	担当課	概要(目的と内容)	有効性 (事業継続の必要性)
	主な活動指標	H30活動実績	改善状況・今後の方向性 新規事業はR1の進捗状況(5月末現在)	H30成果実績
1	健康づくり推進事業	健康課	生き生きとした生活と住民同士の信頼関係の構築に向け、市民、地域が協力して健康づくりに取り組む。	○
	健康ポイント参加者数(申請人数)	8,967 人	青壮年期のアプローチとしては、魅力のある「健康増進プログラム」の提供と健康チャレンジ企業登録のメリットについて普及啓発したり、健康経営の視点が持てるような研修会等も行う。	35.3 %
2	健康プロモ推進事業	健康課	健康寿命の延伸に資するため、健康管理アプリを企業ぐるみで活用し、現役世代の積極的な健康づくりを推進する。	○
	健康ナビ参加者数(申請人数)	330 人	H30年度をもって終了。青壮年期のアプローチとしては、魅力のある「健康増進プログラム」の提供と継続的な健康づくりの仕組みを関係機関と連携しながら検討していく。	(35.3) %
3	スポーツ振興事業	生涯スポーツセンター	健康づくりの推進と競技団体の活動支援のため、スポーツ系団体への補助等を行う。	○
	市民が自主的に実施するスポーツ大会の参加者数	6,800 人	健康維持のために、体力測定に継続して参加するよう促した。自治協単位で増加している「個」への多彩な健康支援と情報発信や健康支援施設の活用拡大の検討、ニーズ調査アンケートの実施。	(35.3) %
4				

3. 施策の分析「CHECK(評価)」と「検証」

①基本目標の視点から見た施策の評価について	必要性	有効性	効率性	本部評価
	大いにある	大いにある	高い	妥当である
	創生本部コメント 基本目標に直接効果のある施策である。			
②施策の方向性に対して事業設定が妥当かどうか	必要性	有効性	効率性	本部評価
	大いにある	概ねある	高い	妥当である
	創生本部コメント 施策に対し直接効果のある事業であり、適宜事業の廃止や見直しを行っており妥当である。			

4. 今後の方向性「ACTION(改善)」

次年度において対応すべき事項	創生本部コメント
	現在の進捗ではKPI達成には厳しい。既存事業の見直しに加え、新たな事業を構築するなどの見直しを要する。これらの取組によって医療費や介護認定年齢などに対しどう影響するか等の効果検証すること。

まち・ひと・しごと・ふるさと養父市創生総合戦略 施策評価シート

1. 施策概要「PLAN(計画)」

番号	4	-	2
----	---	---	---

基本目標④	“健康長寿のまち”に ⇒生涯現役で安心して幸せに暮らせる環境を創る				◇介護を必要としない人の年齢85歳		
施策	概要				KPI		目標値
4 高齢者の生きがいづくりと社会参加の促進	高齢者の就労ニーズに合わせた就労に関する取組を推進する。特に国家戦略特区の規制緩和も視野に入れ(公社)養父市シルバー人材センターによる地域課題の解決(農、観光、子育て、福祉分野など)に資する取組を促進する。				シルバー人材センターの斡旋による高齢者の就労数		延50,000人
KPI推移	H27	H28	H29	H30	H31	備考	
	48,468	48,028	48,972	48,659			

2. 実施状況「DO(実施)」

枝番	事業名	担当課	概要(目的と内容)	有効性 (事業継続の必要性)
	主な活動指標	H30活動実績	改善状況・今後の方向性 新規事業はR1の進捗状況(5月末現在)	H30成果実績
4	養父市高齢者就業機会確保事業	社会福祉課	「生涯現役社会」実現のため、高齢者活用・現役世代雇用サポート事業、地域就業機会創出・拡大事業を実施。	○
	会員数の拡大	452人	定期的な入会説明会の開催、多様な事業の展開による魅力ある組織づくり、HP・会報による募集等、派遣事業を含め、地域ニーズに応じた就業開拓、就業機会の積極的な提案を推進する。公の業務のなかで、業務委託等できるものについて活用を努める。	48,659人
1	放課後ふるさと教育事業(再掲)	こども育成課	養父市を愛する心の醸成を図るため、シルバー人材センター等の会員による文化や技術の継承を行う。	○
	ふるさと教育実施回数	27回	シルバー人材センター等との打ち合わせを通じて、講座内容等を検討している。	-人
2	子育てヘルパー事業(再掲)	こども育成課	育児の不安感、負担感の解消、技術の継承のため、ヘルパーによる家事援助、育児支援を行う。	○
	ヘルパー派遣利用者数	4人	利用が望ましい家庭には、健康課などから個別に勧奨の声をかけを随時行う。サービスに繋がりをやすくするために、保護者の困りを把握しやすいこども園や、NPO法人などにも利用申請書を置いてもらう。	-人
3	高齢者生きがい活動支援事業	農林振興課	農業による高齢者の生きがいづくりの推進のため、空き家再生による宿運営と営農等の体験機会の提供。	○
	わくわく学ぶ農活事業就業延べ人員数	277人	単独事業毎の収支の向上を目指し、補助金が無い場合での事業継続の検討を図る必要がある。農業体験を通じた交流人口の拡大等の課題を解決するため市民農園制度を利用した「わくわく学ぶ農活事業」では、計画を達成するためには事業の周知や利用向上を図る必要がある。	-人
5	健康な食の拠点づくり事業	健康課	健康寿命の延伸を図るため、安全で良質、健康的、独創的な食の提供等食の総合的な取組を実施。	○
	食堂・物販の売上	7,421千円	食の健康協力店としての登録や健康メニューの栄養価計算等のPRを行うも大きな集客にはつながらず、元気にクラス等地域の集まり等へ周知を行う。改めて運営や売上の傾向の見直しと今後の方針をシルバー人材センターと協議し検討する。	-人

3. 施策の分析「CHECK(評価)」と「検証」

①基本目標の視点から見た施策の評価について	必要性	有効性	効率性	本部評価
	大いにある	大いにある	高い	妥当である
②施策の方向性に対して事業設定が妥当かどうか	創生本部コメント			
	必要性	有効性	効率性	本部評価
	大いにある	概ねある	やや高い	一部見直し
創生本部コメント				
各事業の必要性はあるものの、効果的な事業設定について検討すること。				

4. 今後の方向性「ACTION(改善)」

次年度において対応すべき事項	創生本部コメント 現在の進捗ではKPI達成には厳しい。既存事業の見直しに加え、新たな事業を構築するなどの見直しを要する。
----------------	---

まち・ひと・しごと・ふるさと養父市創生総合戦略 施策評価シート

1. 施策概要「PLAN(計画)」

番号	4	-	3
----	---	---	---

基本目標④	“健康長寿のまち”に ⇒生涯現役で安心して幸せに暮らせる環境を創る				◇介護を必要としない人の年齢85歳		
施策		概要			KPI	目標値	
4 疾病予防と健康づくりの推進		高齢になっても健康で住み慣れた地域で元気に暮らせるよう、若いときからの健康づくりとまちぐるみできめ細やかな健康管理・疾病の早期発見と生活習慣病予防を図るための取組を進める。			特定保健指導利用率	60%	
KPI推移	H27	H28	H29	H30	H31	備考	
	32.0%	37.7%	49.1%	36.4%			

2. 実施状況「DO(実施)」

枝番	事業名	担当課	概要(目的と内容)	有効性 (事業継続の必要性)
	主な活動指標	H30活動実績	改善状況・今後の方向性 新規事業はR1の進捗状況(5月末現在)	H30成果実績
1	健康増進事業	健康課	生活習慣病の有病者や予備軍を減少させるため、保健師や管理栄養士が働きかけやアドバイスを行う。	○
	特定保健指導未利用者勧奨数	93人	国保保健指導事業を申請し、助成限度額の400万円の一部で保健師を週3日雇い、特定保健指導の業務に配置する。公立八鹿病院の健康づくり支援を利用しない者には、健康課と保険医療課が連携して訪問・電話で保健指導を行い特定保健指導利用率を上げていく。公立八鹿病院の特定健診を受診した者で特定保健指導対象者に該当する者には、希望の有無に関わらず特定保健指導を実施できるように依頼した。国保保健指導事業を活用し、助成で継続的な人材確保を行う。特定健診受診者1,892人の内、特定保健指導の対象者は217人。対象者のうち指導を最後まで受けた人は79人である。	36.4%
2				
3				
4				

3. 施策の分析「CHECK(評価)」と「検証」

①基本目標の視点から見た施策の評価について	必要性	有効性	効率性	本部評価
	大いにある	大いにある	高い	妥当である
	創生本部コメント 基本目標に直接効果のある施策である。			
②施策の方向性に対して事業設定が妥当かどうか	必要性	有効性	効率性	本部評価
	大いにある	大いにある	高い	一部見直し
	創生本部コメント 施策に直接効果のある事業に見直すこと。			

4. 今後の方向性「ACTION(改善)」

次年度において対応すべき事項	創生本部コメント 現在の進捗ではKPI達成には厳しい。既存事業の見直しに加え、新たな事業を構築するなどの見直しを要する。
----------------	---

まち・ひと・しごと・ふるさと養父市創生総合戦略 施策評価シート

1. 施策概要「PLAN(計画)」

番号	4	-	4
----	---	---	---

基本目標④	“健康長寿のまち”に →生涯現役で安心して幸せに暮らせる環境を創る		◇介護を必要としない人の年齢85歳			
施策	概要		KPI	目標値		
4 公立八鹿病院、市立診療所の医師確保による医療機関の安定運営	継続的かつ安定的な医療提供のため、公立八鹿病院の深刻な医師不足及び市立診療所の医師の高齢化に対応する取組を実施する。		八鹿病院医師数	45人		
KPI推移	H27(H28.4.1)	H28(H29.4.1)	H29(H30.4.1)	H30(H31.4.1)	H31	備考
	41人	36人	37人	39人		

2. 実施状況「DO(実施)」

枝番	事業名	担当課	概要(目的と内容)	有効性 (事業継続の必要性)
	主な活動指標	H30活動実績	改善状況・今後の方向性 新規事業はR1の進捗状況(5月末現在)	H30成果実績
1	やぶ医者プロジェクト事業	保険医療課	医師不足解消のため、就学資金、環境づくり等へ補助を実施し、へき地でがんばる医師を顕彰する。	○
	医学生入学時特別就学金交付件数	0件	中堅医師や専門医の確保について要望。市民に親しまれる病院経営のため、八鹿病院による市民意見交換会を実施。やぶ医者大賞候補者募集に際し、DM発送先を拡充し候補者増に努めた。病院との連携を強化し、喫緊の課題である神戸大学寄附講座の次年度以降の継続に向け、調整を図るとともに、医師のニーズや病院経営や若手医師の定着といった課題を共有しながら具体的改善策・意識改革を促す。また、やぶ医者大賞表彰式の実施にあたっては、但馬圏域の医療を考えるための講演会等とあわせて実施するなど八鹿病院の役割や必要性を周知するための機会をつくる。	39人
2				
3				

3. 施策の分析「CHECK(評価)」と「検証」

①基本目標の視点から見た施策の評価について	必要性	有効性	効率性	本部評価
	大いにある	大いにある	高い	妥当である
	創生本部コメント 基本目標に直接効果のある施策である。			
②施策の方向性に対して事業設定が妥当かどうか	必要性	有効性	効率性	本部評価
	大いにある	大いにある	高い	妥当である
	創生本部コメント 施策に直接効果のある事業であり必要性は大いにある。目標達成に向け事業の見直しを含め検討すること。			

4. 今後の方向性「ACTION(改善)」

次年度において対応すべき事項	創生本部コメント 現在の進捗ではKPI達成には厳しい。既存事業の見直しに加え、新たな事業を構築するなどの努力を要する。
----------------	--

まち・ひと・しごと・ふるさと養父市創生総合戦略 施策評価シート

1. 施策概要「PLAN(計画)」

番号	4	-	5
----	---	---	---

基本目標④	“健康長寿のまち”に ⇒生涯現役で安心して幸せに暮らせる環境を創る		◇介護を必要としない人の年齢85歳			
施策	概要		KPI	目標値		
4 介護予防の推進	地域ぐるみでの介護予防の場を拡大することを推進し、地域において自立支援に資する取組やすべての高齢者が生きがい・役割をもって生活できるための取組を推進する。		毎日元気にクラス開催箇所	60箇所(累計)		
KPI推移	H27	H28	H29	H30	H31	備考
	13箇所	26箇所	38箇所	49箇所		

2. 実施状況「DO(実施)」

枝番	事業名	担当課	概要(目的と内容)	有効性 (事業継続の必要性)
	主な活動指標	H30活動実績	改善状況・今後の方向性 新規事業はR1の進捗状況(5月末現在)	H30成果実績
1	介護予防事業(虚弱予防事業)	介護保険課	健康寿命を延伸するため、高齢者の虚弱化予防プログラムとの拡大と、各地区の虚弱予防教室を支援する。	○
	実施地区数の増加	11地区	自治協単位で、元気にクラスの効果についての講座を行い、実施地区の拡大を図った。活動するお届け隊(シルバー人材センター)への支援を拡大し、体制を整えた。健康課・シルバー人材センター・自治協との連携を図り、住民主体で続けていけるよう、支援を続けていき、フレイル予防を進めていく。	11箇所
2				
3				
4				

3. 施策の分析「CHECK(評価)」と「検証」

①基本目標の視点から見た施策の評価について	必要性	有効性	効率性	本部評価
	大いにある	大いにある	高い	妥当である
	創生本部コメント 基本目標に直接効果のある施策である。			
②施策の方向性に対して事業設定が妥当かどうか	必要性	有効性	効率性	本部評価
	大いにある	大いにある	高い	妥当である
	創生本部コメント 施策に直接効果のある事業で妥当である。 事業開始後、新規介護認定率が減少傾向となり、また65歳以上の要介護新規認定者の平均年齢が徐々に高まっており効果が見込まれる。			

4. 今後の方向性「ACTION(改善)」

次年度において対応すべき事項	創生本部コメント 現在の進捗でいけばKPI達成の見込み。目標を高く持ち、引き続き各事業の円滑な進捗を図ること。
----------------	--

まち・ひと・しごと・ふるさと養父市創生総合戦略 施策評価シート

1. 施策概要「PLAN(計画)」

番号	4	-	6
----	---	---	---

基本目標④	“健康長寿のまち”に ⇒生涯現役で安心して幸せに暮らせる環境を創る		◇介護を必要としない人の年齢85歳	
施策	概要		KPI	目標値
4 地域包括ケアシステムの充実と在宅生活の推進	医師会や病院等の医療機関と介護保険事業所等の福祉機関の密な連携により、医療と福祉の切れ目ない一体的な支援を充実させ、在宅生活を推進する。		要介護のうち在宅生活者数の割合	65%
KPI推移	H27 64.9%	H28 66.6%	H29 65.2%	H30 65.3%
			H31	備考

2. 実施状況「DO(実施)」

枝番	事業名	担当課	概要(目的と内容)	有効性 (事業継続の必要性)
	主な活動指標	H30活動実績	改善状況・今後の方向性 新規事業はR1の進捗状況(5月末現在)	H30成果実績
1	認知症総合支援事業	介護保険課	住み慣れた地域で暮らし続けられるよう初期集中支援チーム等で早期発見、早期支援等を実施。	○
	認定者の在宅生活者の割合	65 %	従来の安心見守りネットワークに加え、認知症に特化したSOS見守りネットワークの支援体制を新たに始め、行方不明になった場合の早期発見できる体制を強化していく。認知症対策だけでなく、在宅での看取りをできる体制など、在宅で生活を続けられるよう支援を強化していきたい。	65.3 %
2				
3				
4				

3. 施策の分析「CHECK(評価)」と「検証」

①基本目標の視点から見た施策の評価について	必要性	有効性	効率性	本部評価
	大いにある	大いにある	高い	妥当である
	創生本部コメント 基本目標に直接効果のある施策である。			
②施策の方向性に対して事業設定が妥当かどうか	必要性	有効性	効率性	本部評価
	大いにある	大いにある	高い	妥当である
	創生本部コメント 施策に直接効果のある事業で妥当である。			

4. 今後の方向性「ACTION(改善)」

次年度において対応すべき事項	創生本部コメント KPIを達成した。医療資源の減少も見込まれる中、できる限り住みなれた地域で暮らせるよう在宅サービスをしっかり行っていくこと。
----------------	--